

小合中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

小合地域は、信濃川に隣接し秋葉区の西側に位置しています。豊かな田園地帯の中には、花卉園芸・稲作・電子産業・アパレル・環境リサイクル産業などが点在しています。

地域内には、東西に国道460号が通っているほか、東は国道403号にも接しており良好な交通アクセスが確保されています。

地域の中央には、小合地区コミュニティセンターがあり地域活動の拠点として活用されています。

地域の歴史は、西暦1400年代まで遡り、1600年代までには現在の14集落（大鹿、子成場、浦興野、出戸、梅ノ木、蕨曾根、四ツ興野、栗宮、大秋、川根、小屋場、小戸上組、小戸下組、野方）全てが開墾されたと言われてしています。

小合地域は、日本におけるチューリップ商業栽培発祥の地でもあり、現在は生産量全国一のアザレアの他、シャクナゲ・クリスマスローズ・椿など、全国有数の花の産地になっています。

また、地域内には洪水から地域を守るための大秋排水機場（1979年完成）や秋葉区の気象観測所（アメダス）、「琵琶湖周航の歌」原曲の「ひつじぐさ」を作曲した吉田千秋の生家（国登録有形文化財）などの史跡、小戸下組獅子舞（新潟市指定文化財）をはじめとした地域の獅子舞や神楽舞などの伝統芸能、市指定の保存樹、銘木なども多数あります。

コミュニティ協議会※

小合地域コミュニティ協議会

小学校

小合東小学校

小合小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



小合中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

(人) (世帯) (人)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	4,080	1,975	2,105	441	2,416	1,223	728	1,180	3.46
		48.4%	51.6%	10.8%	59.2%	30.0%	17.8%		
2016年	3,887	1,883	2,004	396	2,114	1,377	766	1,249	3.11
		48.4%	51.6%	10.2%	54.4%	35.4%	19.7%		
増減	-193	-92	-101	-45	-302	154	38	69	-0.35
	-4.7%	-4.7%	-4.8%	-10.2%	-12.5%	12.6%	5.2%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	3,656	1,775	1,881	370	1,845	1,440	737
		48.6%	51.4%	10.1%	50.5%	39.4%	20.2%
2026年	3,398	1,657	1,741	322	1,682	1,394	844
		48.8%	51.2%	9.5%	49.5%	41.0%	24.8%
2031年	3,123	1,526	1,597	268	1,536	1,320	880
		48.9%	51.1%	8.6%	49.2%	42.3%	28.2%
2036年	2,830	1,379	1,451	224	1,373	1,233	812
		48.7%	51.3%	7.9%	48.5%	43.6%	28.7%
2016-2036 増減	-1,057	-504	-553	-172	-741	-144	46
	-27.2%	-26.7%	-27.6%	-43.5%	-35.0%	-10.5%	6.0%

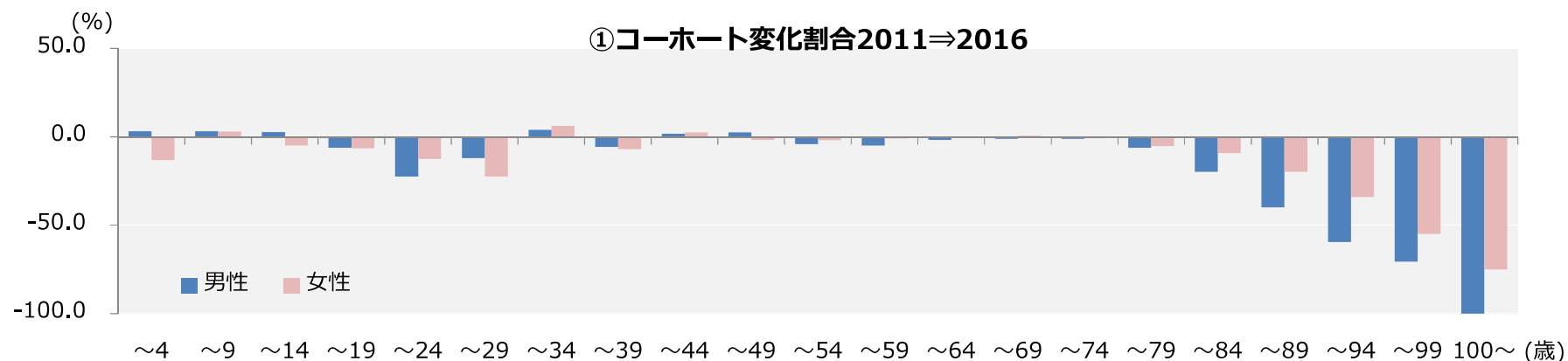
○人口は、2016年の3,887人から2036年には2,830人と27.2%減少する。

○老年人口は、2021年に1,440人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は35.4%から43.6%に増加する。

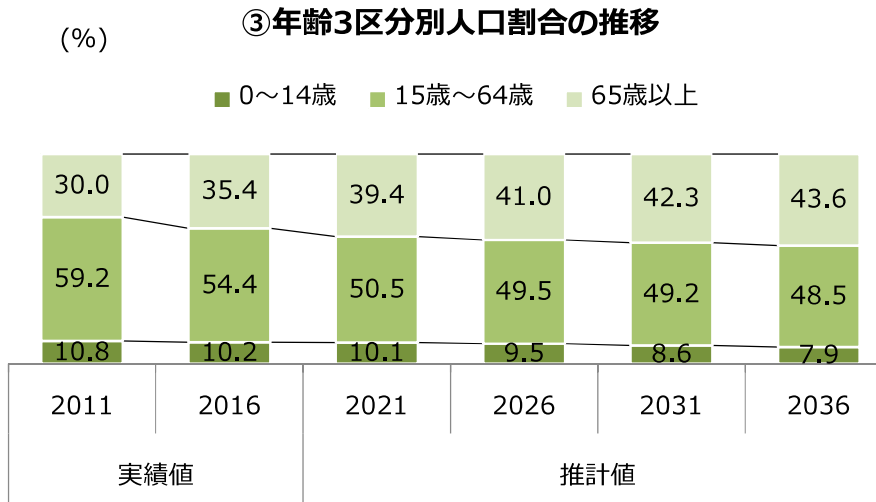
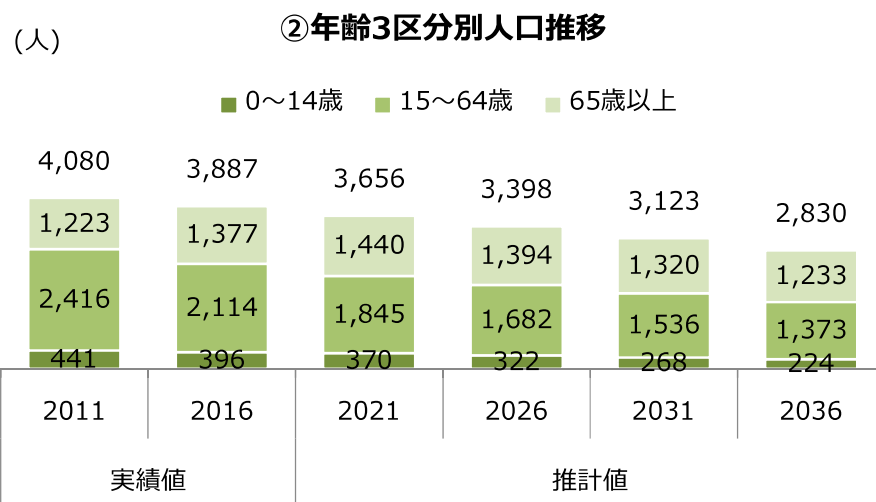
○年少人口は、2016年の396人から2036年には224名となり、43.5%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の2,114人から2036年には1,373人となり、35.0%減少する。

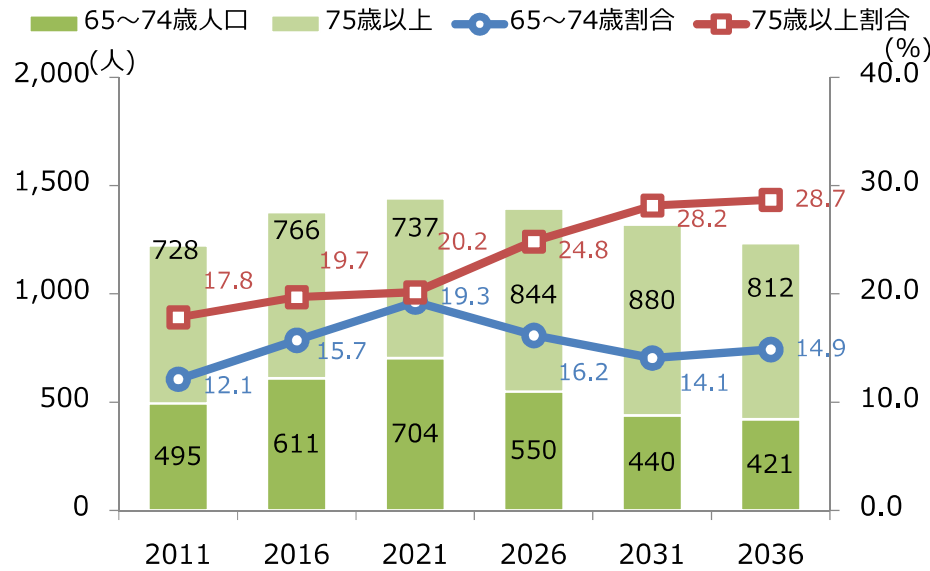
3.人口推計グラフ



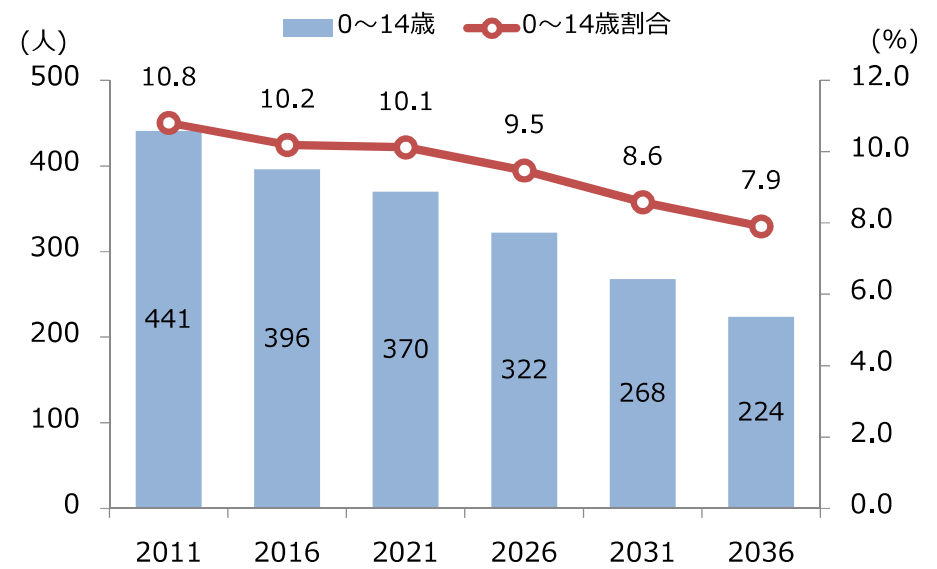
○就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○変化割合が大きくプラスとなっている年代はないが、30~34歳の年代がプラスとなっており、5~9歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



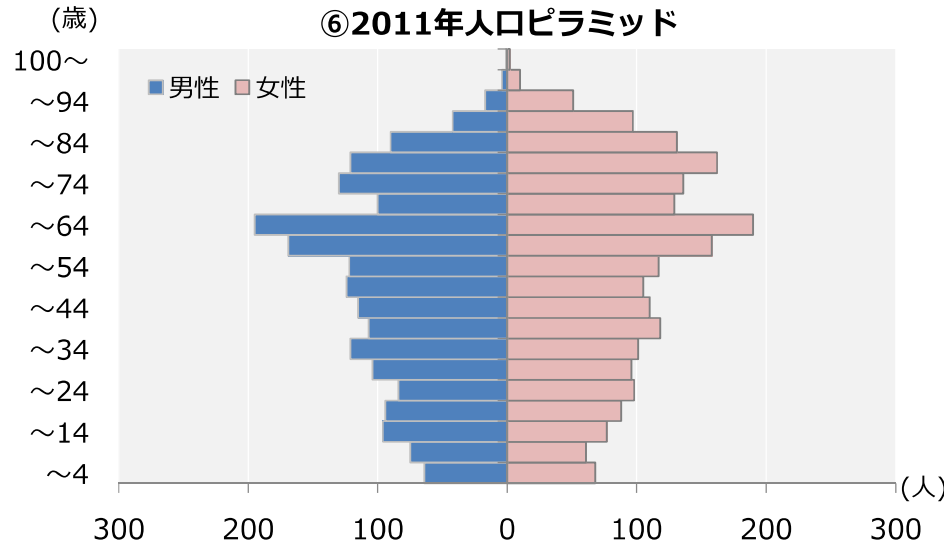
④高齢者人口の推移



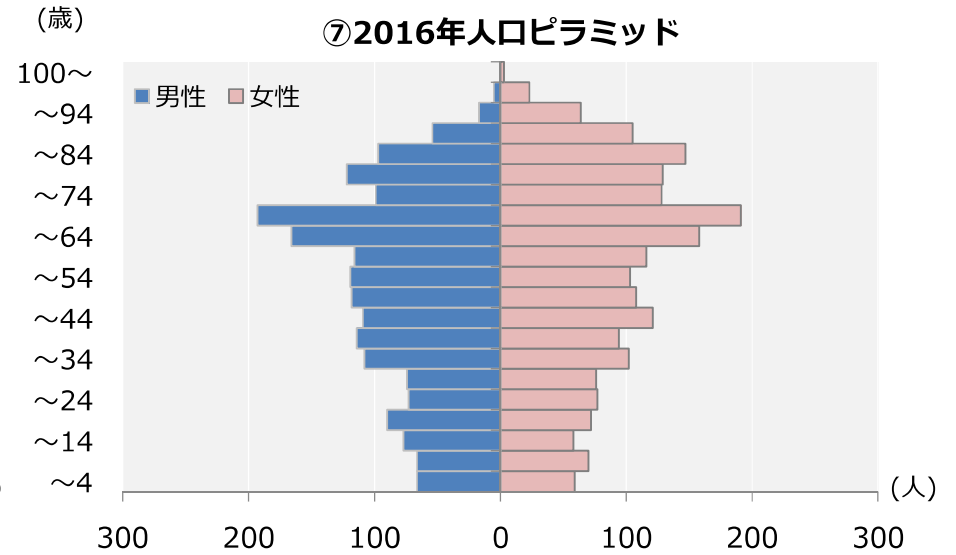
⑤年少人口の推移



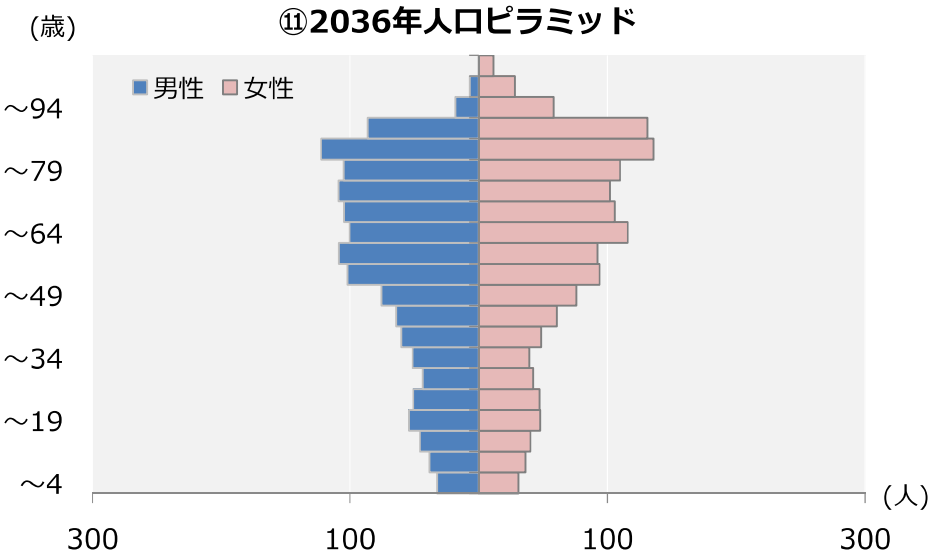
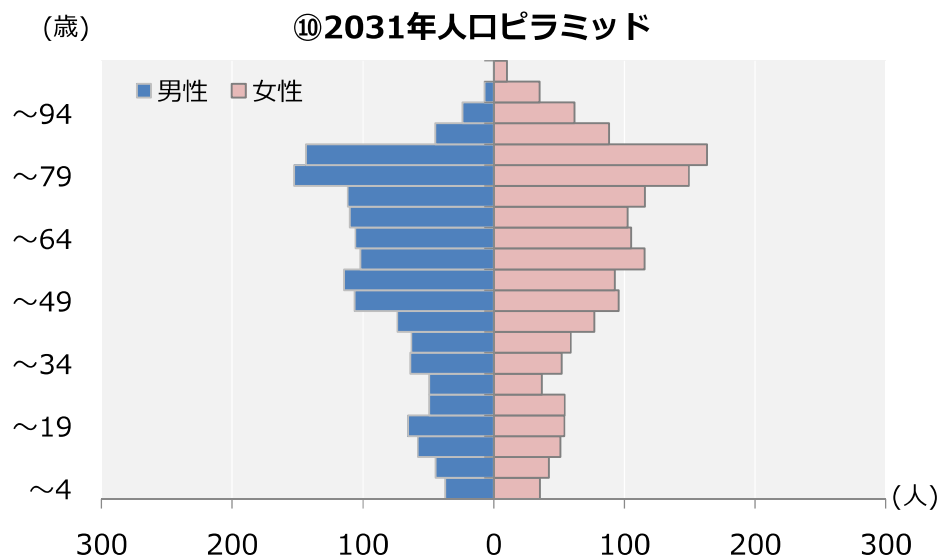
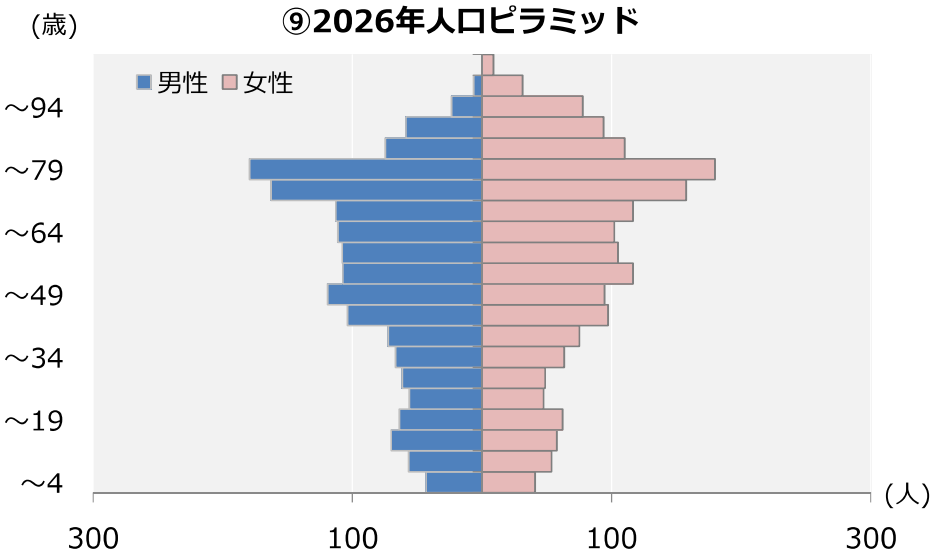
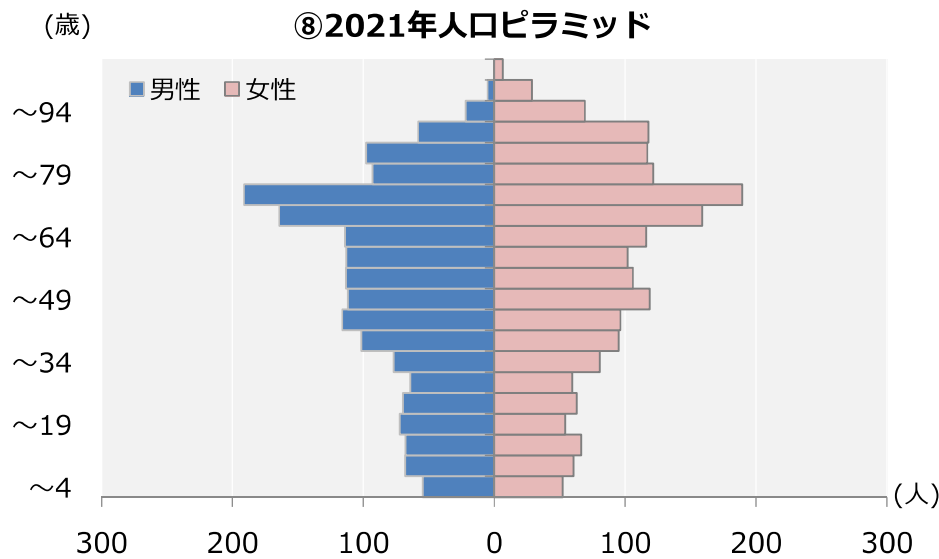
⑥2011年人口ピラミッド



⑦2016年人口ピラミッド



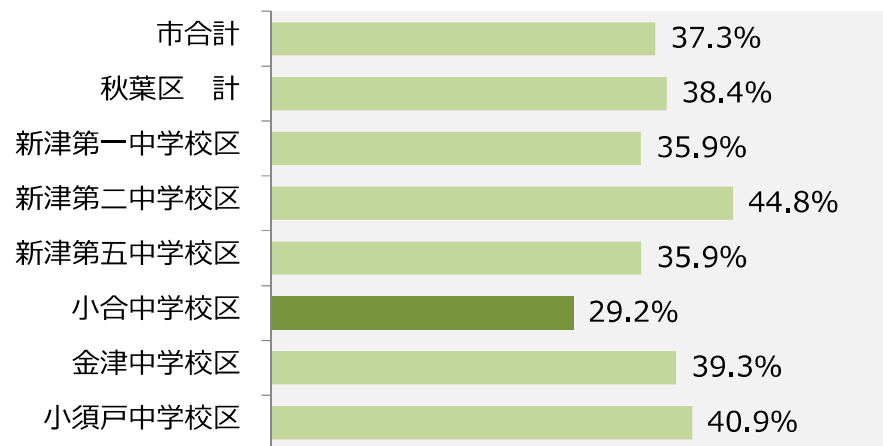
小合中学校区



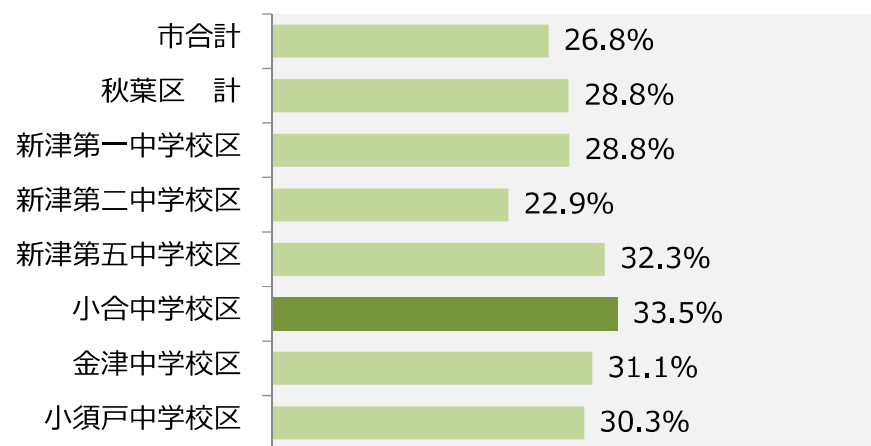
小合中学校区

Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

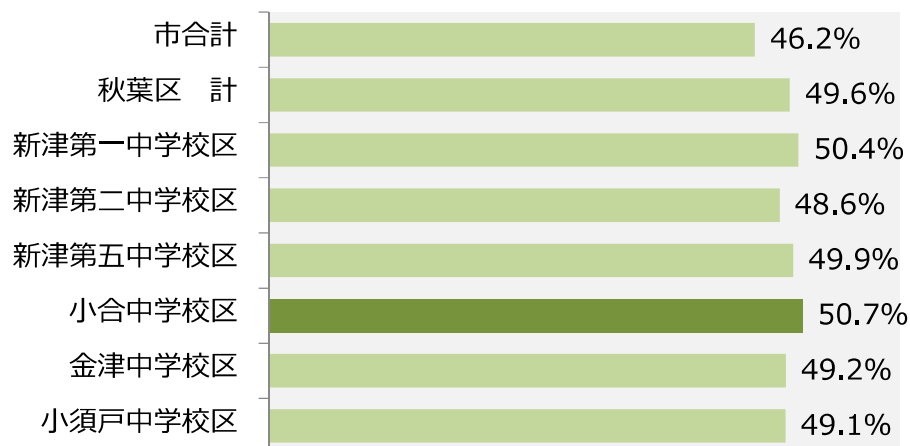


②高齢化率

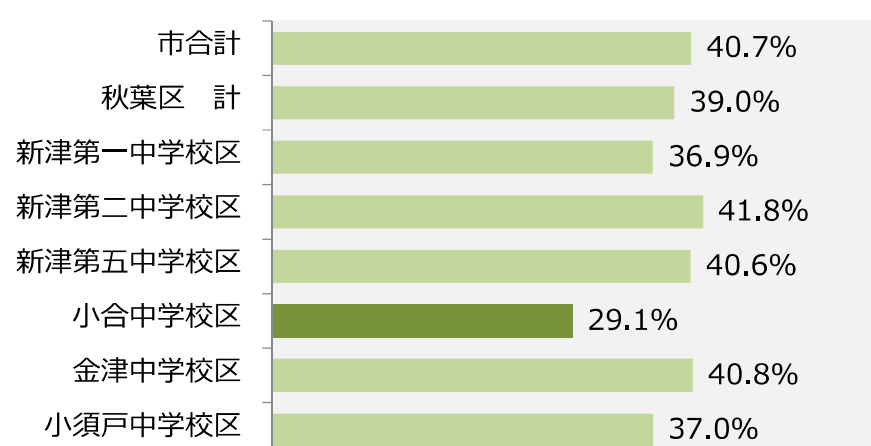


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

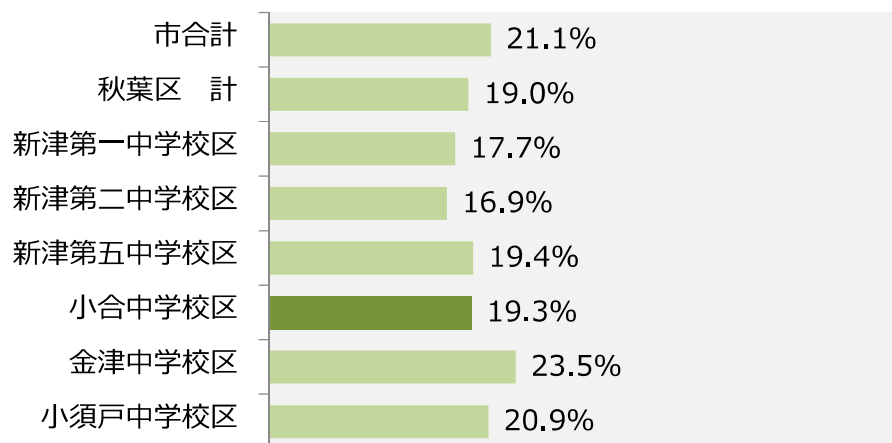


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

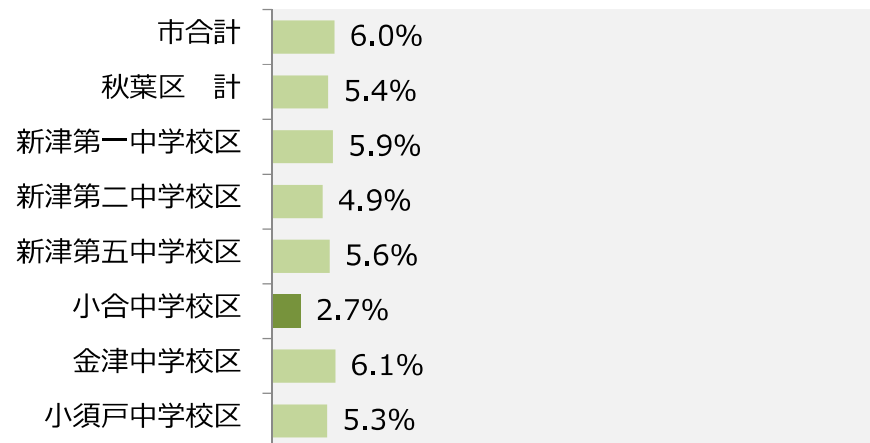
■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

小合中学校区

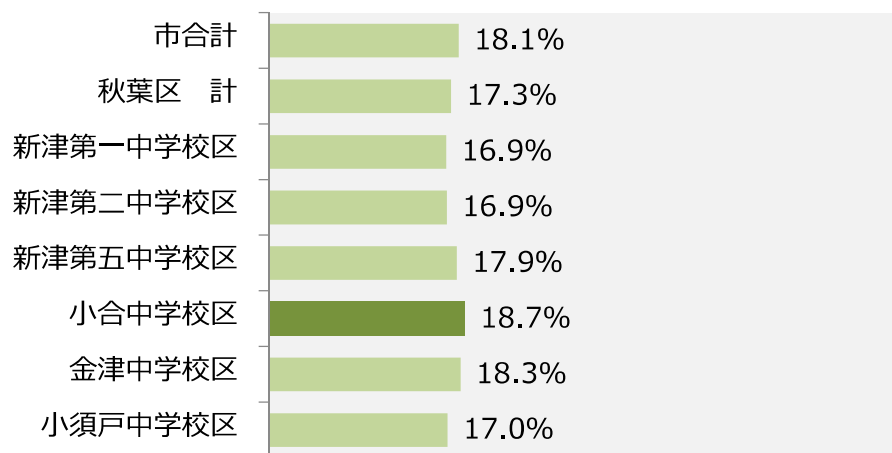
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

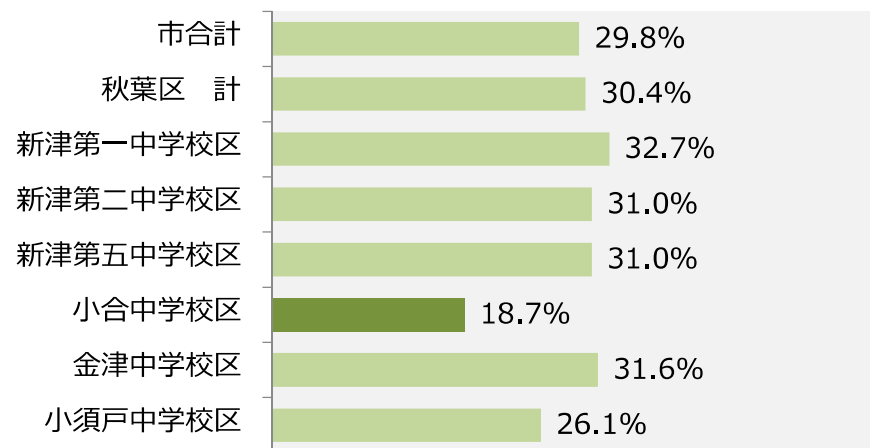


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

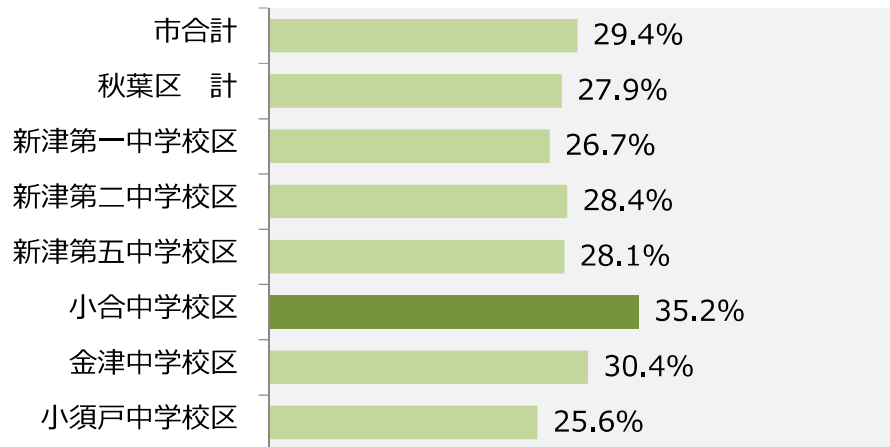
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

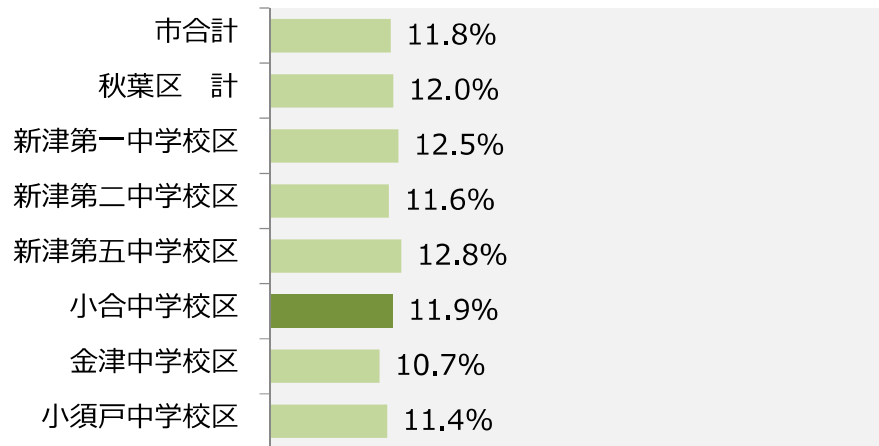
小合中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報				避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年		使用面積 (㎡)		コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	小合地区コミュニティセンター		H9	～	H16	930.00	○	491.0	円/人/回	(928.0)	25.1	%	(26.3)	2
学校教育系施設	小合小学校		S41	～	H8	2,864.07	○	120.8	万円/人/年	(81.3)	34.1	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	小合東小学校		S50	～	H3	2,998.03	○	178.6	万円/人/年	(81.3)	42.8	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	小合中学校		S44	～	H26	2,563.57	○	132.1	万円/人/年	(88.5)	30.5	㎡/人	(28.5)	4
学校教育系施設	小合東幼稚園		H4			636.60	○	115.7	万円/人/年	(74.9)	19.9	㎡/人	(16.4)	4

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

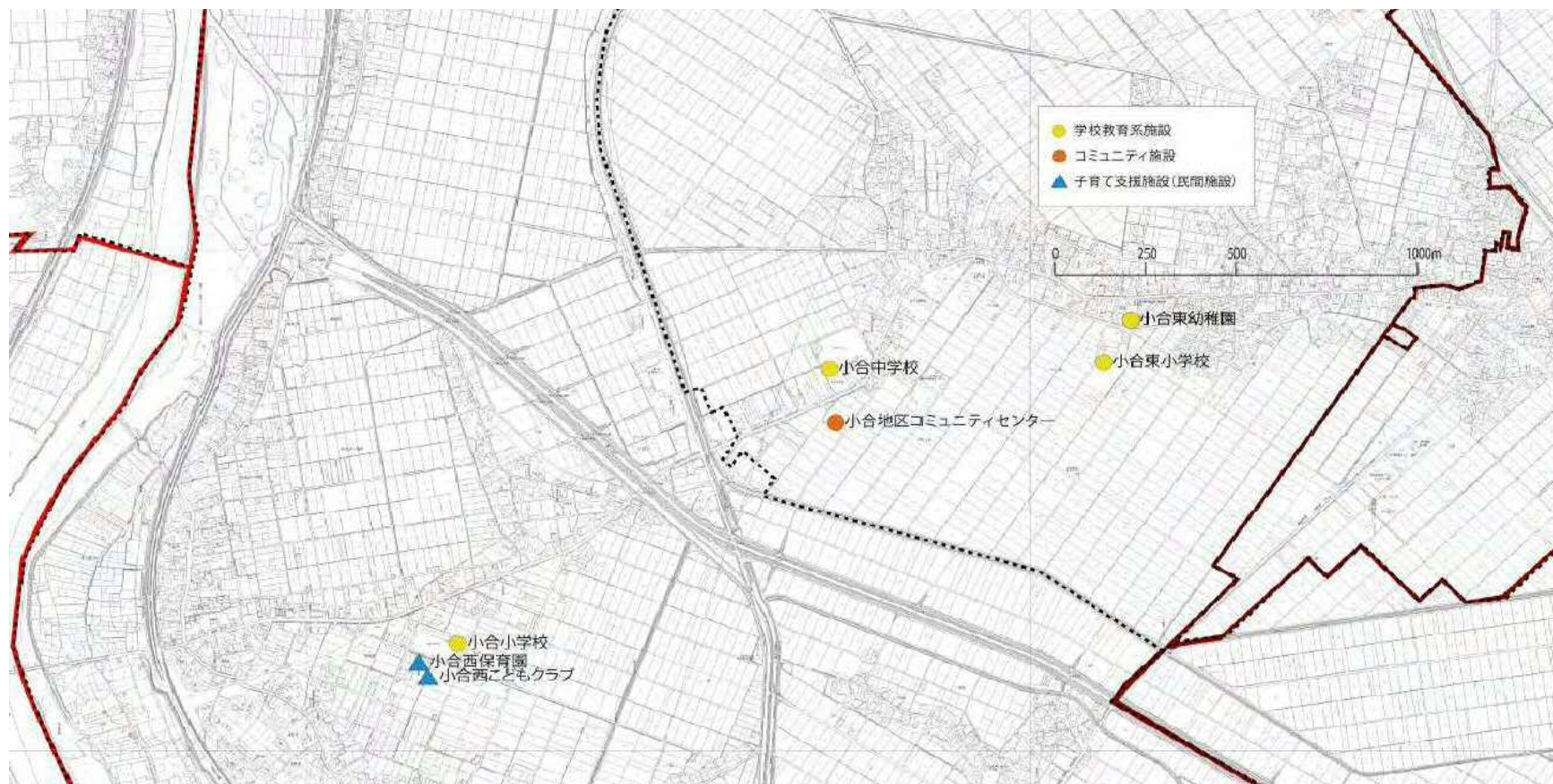
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。